

長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会

中 間 報 告 書

(長崎市平和公園スポーツ施設の再配置について)

令和 6 年 6 月 7 日

長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会

長崎市平和公園スポーツ施設の再配置に関する再検討部会

長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会（以下、「検討委員会」という。）及び長崎市平和公園スポーツ施設の再配置に関する再検討部会（以下、「再検討部会」という。）において、長崎市平和公園（西地区）におけるスポーツ施設の再配置について調査審議した結果を以下のように報告します。

1 再検討部会の報告

再検討部会については、令和 5 年 7 月に検討委員会の下部組織として設置し、施設利用者の視点等を取り入れ、スポーツ施設の再配置に特化した検討を進めてまいりました。

この再検討部会は、これまでに 5 回開催しております。令和 5 年 9 月に開催した第 1 回目は、これまで専門家による検討や住民の方への説明のもとに都市計画決定された長崎南北幹線道路の計画ルートを前提に、スポーツ施設の再配置に特化した議論を行っていくことを確認しました。それとともに、各委員からスポーツ施設の再配置に関する意見をご発言いただき、それをもとに意見交換を行いました。

令和 5 年 11 月に開催した第 2 回目は、第 1 回目で出された委員の意見を踏まえ、スポーツ施設の再配置において留意すべき点や再配置先の抽出・評価の観点について議論を行い、確認しました。

令和 5 年 12 月に開催した第 3 回目では、市民総合プール（以下、「プール」という。）の候補地として、中部下水処理場跡と松山町の陸上競技場を抽出いたしました。

令和 6 年 2 月に開催した第 4 回目では、これまでの委員の意見を踏まえて、各候補地における機能性やアクセス性、整備費用などの経済性の観点からプールの候補地の評価を行い、意見交換を行いました。委員からは、「各候補地における経済性やアクセス性だけでなく、まちづくりの観点を踏まえた課題や整備効果、将来性などの多角的な視点を意識した検討を行う必要がある」などの様々なご意見をいただきました。

このため、令和 6 年 3 月に開催した第 5 回目では、プールだけでなく陸上競技場の候補地も合わせて評価を行い、各候補地のアクセス性、経済性、場所性、将来性、連携性及び特徴や課題などの多角的な視点から検討を行ったところ、委員からはパターン 1 の「中部下水処理場跡にプー

ルを配置し、陸上競技場を存続する案」、パターン３－２の「陸上競技場にプールを配置し、現在のプールの場所に陸上練習場として 300mトラックを再配置する案」、そしてパターン４の「陸上競技場にプールを配置し、中部下水処理場跡に陸上練習場として 400mトラックを再配置する案」の３つのパターンを支持する意見がありました。

ただし、パターン１に関しては、検討の余地が残されているものの、コスト面では見過ごすことができないくらいの費用がかかっていること、長崎都心まちづくり構想等の他の計画との整合性が担保されない可能性があること、集客施設の集積による動線の混乱や渋滞が発生する可能性があること、民間プールや長崎スタジアムシティを含む競合他社、競合施設の民業を圧迫する可能性があるといった意見が出されました。

パターン３－２に関しては、300mトラック内に視界を遮る橋脚が建つことによる安全面の問題や 300mトラックでは陸上の練習環境として十分ではないといった意見が出されました。

パターン４に関しては、陸上練習場として 400mトラックが確保でき、多目的に利用できる空間であれば、長崎都心まちづくり構想との整合性が図れるなどの意見が出されました。

また、パターンを考える際には、ひとつのパターンのみを取り入れるのではなく、色々なパターンを組み合わせ、それぞれの配置パターンの良いところを取り入れることも重要だという意見もありました。

さらに、長崎のまちづくり全体を見据える中で、スポーツ施設をどのように位置づけるのかという、大局的な観点から場所の特性も踏まえて考えることや、平和との関連性を考えながら再配置の位置づけを検討する必要についての意見もありました。

再整備の実施に際しては、長期に渡る事業となるため、事業期間中に競技の実施に差し障りがある際に、それに対する代替措置をとるというプロセスも考える必要があるなどの意見もいただきました。

再検討部会では、パターン１、パターン３－２、パターン４の３つのパターンを支持する意見があったことを検討委員会に報告し、スポーツ施設の再配置については、検討委員会に再検討部会の委員を加えた会議の場（以下、「合同会議」という。）において、議論をお願いすることとしました。

２ 合同会議の報告

令和６年５月２２日に開催した合同会議では、再検討部会の結果を踏まえ、支持された３つのパターンについて、都市計画マスタープラン等の観点からの見解と経済性（基礎工事費用）の試算について関係人から意見を聞いて議論を行いました。委員からは、パターン３－２に関しては、陸上関係者へのアンケート調査などから、安全面を考慮すると陸上競技における練習環境が十分に確保できないという意見が出され、他の委員もこの意見を支持し、パターン１とパターン４に意見が絞られました。

パターン１とパターン４に関しては、経済性の点、陸上と水泳の両競技において必要な環境が確保できるという点、交通問題が発生する可能性を回避できるという点などから、パターン４を支持し肯定する意見が多くありました。ただし、経済性に対する疑問の意見も一部にありました。なお、パターン４の運用にあたっては、陸上練習場が再配置された空間を、陸上練習の専用ではなく、市民の憩いの場、防災空間、イベントへの活用など多機能に利用され、文化施設・スタジアム・商業施設・住宅等の周辺環境との調和連携による相乗効果を生む長崎都心まちづくり構想と整合がとれた空間づくりが必要との意見も多く出されました。加えて、陸上競技場にプールを配置する場合には、平和祈念像がある祈念像地区から稲佐山に対する眺望や広場空間の確保といった意見も出されました。

また、パターン１に関しては、現在の陸上競技場の場所が多機能に使用されていることや平和の視点から、支持する意見がありました。

以上が合同会議の報告となりますが、これまでの検討経過や委員の意見を踏まえ、都心部の未来の動向を見据えながら、より多くの市民に支持され、長崎市民にとって有益となるよう、スポーツ施設の再配置について、判断いただければと願います。

3 検討経過

(1) 第1回再検討部会

日時 令和5年9月29日(金)

報告 長崎南北幹線道路の概要とルート選定の経緯について

議事 スポーツ施設の再配置に関する委員の意見、委員による意見交換
(スポーツ施設の再配置に関する要望、考え方、留意すべき点など)

結果 長崎南北幹線道路の計画ルートを前提に、スポーツ施設の再配置に特化した議論を行っていくことを確認

(2) 第2回再検討部会

日時 令和5年11月2日(木)

議事 スポーツ施設の再配置検討において留意すべき点や観点に関する意見交換

結果 スポーツ施設の再配置において留意すべき点や今後の検討の進め方、抽出や評価の観点について確認

(3) 第3回再検討部会

日時 令和5年12月21日(木)

議事 スポーツ施設(プール)の再配置パターンに関する意見交換

結果 再配置先の抽出条件から、中部下水処理場跡と平和公園(陸上競技場)をプールの再配置先の候補地として抽出

(4) 第4回再検討部会

日時 令和6年2月7日(水)

議事 スポーツ施設(プール)の再配置先の評価に関する意見交換

結果 プールの候補地について、機能性やアクセス性、経済性などの観点から評価を行い、意見交換を行った。

(5) 第5回再検討部会

日時 令和6年3月28日(木)

議事 スポーツ施設(プール・陸上競技場)の再配置先の評価に関する意見交換

結果 パターン1「中部下水処理場跡にプール、陸上競技場を存続する案」、パターン3-2「陸上競技場にプール、現在のプールの場所に300mトラックを再配置する案」、パターン4「陸上競技場にプール、中部下水処理場跡に400mトラックを再配置する案」の3案が適当といった意見が多かった。

4 委員名簿

分野	所属	職名	氏名	委員会※1	部会※2
学識経験者	長崎県立大学地域創造学部公共政策学科	教授	西岡 誠治	○ 委員長	
学識経験者	長崎大学水産・環境科学総合研究科	教授	渡辺 貴史	○ 副委員長	○ 部会長
学識経験者	九州大学芸術工学部環境設計学科	准教授	高取 千佳	○	
平和	(公財)長崎平和推進協会	事務局長	中川 正仁	○	
商工業	長崎商工会議所 都市整備委員会	副委員長	谷川 喜一	○	
観光	(一社)長崎国際観光コンベンション協会	常務理事	股張 一男	○	
行政	長崎県土木部	参事監	椎名 大介	○	
環境	(特非)環境カウンセリング協会長崎	会員	佐藤 恵	○	
障害者	(一社)長崎市心身障害者団体連合会	事務局長	川瀬 朋章	○	
地域活動	平和公園地域まちづくり協議会	会長	深堀 義昭	○	
地域活動	山里地区連合自治会	会長	久米 直	○	
地域活動	斜面地・空き家活用団体つくる	代表	岩本 諭	○	
スポーツ	(公財)長崎市スポーツ協会	理事長	渡辺 雄児	○	○
教育	長崎市PTA連合会	顧問	松本 光生	○	○
地域活動	城山校区連合自治会	会長	古賀 信恕	○	○
学識経験者	長崎大学総合生産科学域	教授	片山 健介		○
スポーツ	長崎市陸上競技協会	理事	山川 貴広		○
スポーツ	(特非)長崎游泳協会	理事長	田中 直英		○
スポーツ	長崎市水泳連盟	理事長	荒木 康正		○
スポーツ	長崎市レクリエーション協議会	会長	智多 正信		○
商工業	長崎商工会議所	常議員	川添 暢也		○
観光	(一社)長崎国際観光コンベンション協会	会長	村木 昭一郎		○
交通・輸送	長崎県トラック協会長崎支部	支部長	塚本 敏		○
地域活動	長崎市営松山平和運動公園を守る会	事務局長	井上 秀明		○

※1 長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会 委員

※2 長崎市平和公園スポーツ施設の再配置に関する再検討部会 委員